

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画の位置づけ	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和4年度事業概要	令和4年度取組・評価 (令和5年1月31日現在)	令和5年度事業計画(方針)
1	継続	産業建設課	7-(6)-ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興	基本方針(1) あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	あつみ温泉集客イベント実施事業	民間主導の集客効果の高いイベント開催を支援する。「あつみ温泉開湯1200年」「庄内藩の湯役所設置400年」の節目の年に、地域の旅館・商店など関係者と協議しながら、地域が一体となったイベントを開催し、更なる誘客に努める。	(1)あつみ温泉魅力づくり推進委員会が実施する「お湯興まつり」の開催を支援する。 (2)酒井家庄内入部400年記念事業の実施 ①あつみ温泉バラ園で記念のバラの植樹を実施。 ②酒井家と温海地域の歴史に関する講演会を開催(講師 酒井忠久氏、あつみ観光協会若松邦彦氏)	・あつみ温泉に庄内藩湯役所が設置されたことに因み、9月17日に「酒井家庄内入部400年記念講演会」及び「殿様の薔薇植樹式」を実施。 ・同日のあつみ温泉魅力づくり推進委員会主催「お湯興まつり」開催を支援。 イベントは、一時的な集客や経済効果は認められるものの、労力やコストに対する費用対効果の面で課題が多いことから、平成22年度から継続してきた集客イベント事業に対する支援は令和4年度でいったん終了。	・イベント支援から日常の魅力づくりに力点をシフトする方向性。
2	新規	産業建設課	7-(6)-ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興	基本方針(1) あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	あつみ温泉魅力向上事業	令和3年度に策定したあつみ温泉観光戦略に基づき、具体的な実践策について「まちづくりアドバイザー」を委嘱して、より効果的な温泉街づくりに資するよう指導助言を仰ぐ。観光客の立ち寄り施設であるあつみ温泉の足湯を修繕し、クオリティ向上を図る。	(1)あつみ温泉の魅力向上の取組について、専門家を招聘し、指導・評価分析を仰ぐ。 (2)民間事業者が実施する足湯のリフレッシュ事業に補助金を交付し支援する。	・専門家のアドバイスを受けながら、観光庁の高付加価値化事業を活用し、旅館や飲食店等の高付加価値化を実践。(あつみ観光協会主体) ・足湯カフェチットモッシュェの「もっしえ湯」のリフレッシュを支援。	・官民の役割分担を共有し、必要に応じて専門家や地元観光関係者との意見交換を継続。 ・公共施設のクオリティの維持向上に向けた取組を継続。 ・観光庁の補助事業等の外部資金を有効活用し、民間事業者の店舗の魅力向上に取り組み、温泉街全体の魅力向上を図る。 ※令和5年度からは、No.6温海地域魅力発信事業と統合し「温海地域魅力創造発信事業」として実施する。
3	継続	産業建設課	7-(6)-ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興	基本方針(2) 日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化	はなさき路の賑わいづくり事業	将来の新たな地域拠点整備による観光集客を最大限に活かすため、鼠ヶ関地内に人を誘導する仕組みや観光のまちづくり推進のため、鼠ヶ関IC(仮称)周辺地域のブランディング創出とともに、地域の振興と産業の活性化を図る。	鼠ヶ関小学校児童を中心とした「輝かせよう光の鼠ヶ関活性化プロジェクト(灯台・遊歩道のイルミネーション)」を継続するため、遊歩道のイルミネーション設置を支援する。	実行委員会を開催(4回)し鼠ヶ関活性化プロジェクトを実施(2年目) ・弁天島遊歩道のイルミネーション装飾に併せて、観光庁補助事業を活用した鼠ヶ関灯台プロジェクションマッピング実施。 ・地域の稼げる看板商品創出事業「海編」(8/26~28)のモニターツアーを実施。	・新たな道の駅を拠点に地域内周遊を促す仕掛けづくりとして、地元小学生のアイデアも活用しながら弁天島周辺の魅力づくりを進めてきたが、一定の感触を得たことにより、はなさき路整備推進委員会を解散する予定。 ・次年度以降、地元連絡会を設置し、地元主体の取組を進める方針。

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度の取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画の位置づけ	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和4年度事業概要	令和4年度の取組・評価 (令和5年1月31日現在)	令和5年度事業計画(方針)
4	継続	総務企画課	7-(6)-イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	基本方針(3) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	温海地域支援ネットワーク推進事業	<p>・地域を離れても関係人口として地域と関わる仕組みを構築し、新たな関係人口の増加と若者の地元回帰を目指す。</p> <p>・新たな「地域づくりの担い手」となる人材を温海地域に迎え入れることで、人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の活性化を図る。</p>	<p>(1)明日の芽を育てるプロジェクトとして、高校生～20代の若者を対象にSNSを活用した情報発信講座の開催。</p> <p>(2)リビングシフト支援事業として、温海くらし&amp;しごと体験事業(2泊3日程度)の実施。</p> <p>(3)東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムへの参加(3年目)</p> <p>(4)大学生を対象としたビジネス研修プログラム「武者修行プログラム」への協力 ※(株)旅武者主催</p>	<p>(1)「スマホで気軽にYouTube講座～温海で動画作成に挑戦!～」全2回(8/8、9)実施。</p> <p>対象を中学生～20代とし、3名受講。受講者が意欲的に取り組み、講座で作成した食べ歩き動画をYouTubeで発信したところ、これまでに2,033回の視聴があった。若者目線の情報発信に効果が見られた。また、受講生1名が、講座終了後に山五十川集落の動画を作成し、地域の魅力を情報発信している。</p> <p>(2)「温海くらし&amp;しごと体験事業」 1/27～29⇒延期2/24～26、県外在住の20代～30代対象に定員5名で実施予定。当初、問い合わせが2件あったものの、最少催行人数2名に達しなかったため延期。</p> <p>(3)「東京大学FS型政策協働プログラム」 学生5名が参加。現地活動2回(8/23～25、11/26、27)とオンラインにより、地域の若者(10代～40代)と交流し、意見交換を行った。2/18に施策発表会を実施予定。</p> <p>(4)「武者修行プログラム」 9/7～21の2週間、あつみ温泉地内に全国から大学生19名が集結。地域や観光客と交流を持ちながら、観光振興を目的としたビジネスプランを提案。採択されたビジネスプランを引継ぐことで、地域と学生との関わりが継続しており、関係人口の創出につながった。事後アンケートで、全ての学生が温海へ再訪したいと答えており、関わりの継続に期待したい。</p>	<p>・若者が就職や進学を機に地域を離れても、関係人口として関わり、将来的に地元回帰する事業を実施する。</p> <p>・温海に居住する若者世代のつながりを形成し、主体的な地域づくり活動への意識啓発に繋がる取組を行う。</p> <p>・若者の地方体験交流を促進し、関係人口の創出、拡大につながる取組を継続実施する。</p> <p>・移住定住に関する事業については、地域振興課と連携し実施する。</p>

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度の取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和4年度事業概要	令和4年度の取組・評価 (令和5年1月31日現在)	令和5年度事業計画（方針）
5	拡充	産業建設課	7-(6)-イ 自然・歴史・文化を 生かした交流人口、関 係人口の拡大	基本方針 (3) 自然・歴史・ 文化を生かした交流人口、 関係人口の拡大	あつみ体験旅 行推進事業	地域資源を活用した体験型観光の推 進や教育旅行の誘致により地域経済 の活性化を図るとともに、事業推進 の過程で人材育成を図る。	(1)SDGs を取り入れた体験事業の本 格実施に向け、NPO団体に活動推進 職員を1名増員し、教育旅行の体制を 強化を図る。 (2)団体が実施する体験型旅行の誘致 とプログラム造成に対する支援を継 続する。	・SDGsの要素を含んだ教育旅行の需要 の高まりに対応するため、人員拡充を支 援。 ・サステナブルツーリズム「SDGs × 観光」の需要伸展により、昨年度より本 格実施を図ったSDGs 教育旅行の受入数 が堅調に伸びている。 ・R4年度 体験者総数3,361人、教育旅行 数28校(NPO法人提供データ9/16現在)	NPO法人の自走化に向けた体制づくり のため、法人ではR5年度に体験料金の単 価改正や営業力強化の方針を打ち出して いる。 Withコロナに向け、県内及び隣県の旅行 代理店へのプロモーション活動を強化 し、特に、教育旅行の団体受入を増やせ るよう、安定した事業収益の確保に向け た取組の強化、推進を支援。
6	新規	産業建設課	7-(6)-イ 自然・歴史・文化を 生かした交流人口、関 係人口の拡大	基本方針 (3) 自然・歴史・ 文化を生かした交流人口、 関係人口の拡大	温海地域魅力 発信事業	・鶴岡市の南の玄関口となる鼠ヶ関 の「新道の駅」等で提供する温海地 域の地域資源を活用した観光コンテ ンツを造成 ・地域おこし協力隊1名を配置。 (あつみ観光協会配置を想定)	(1)温海地域の地域資源について調 査・整理し、観光コンテンツとして 活用可能にする。 (2)観光客の受け入れ体制について地 域住民等と調整する。	・10月から地域おこし協力隊員を委嘱。 (あつみ観光協会雇用) 【主な活動内容】 ・あつみ観光協会のホームページの更 新。 ・温海地域の人的ネットワークの形成(現地 視察実施)。 ・温海地域の地域資源の掘り起こし。 ・情報検索会社が提供するデモデータを 活用した温海地域への観光客の流入状況 等の分析の試行。	・観光プログラムの造成に向けた活動を 継続するため、引き続き「温海地域魅力 発信業務委託契約」を締結予定。(地域 おこし協力隊の任期は最長3年) ・地域おこし協力隊任期終了後の定住支 援策を検討。
7	新規	総務企画課	7-(6)-イ 自然・歴史・文化を 生かした交流人口、関 係人口の拡大	基本方針 (3) 自然・歴史・ 文化を生かした交流人口、 関係人口の拡大	温海地域教育 環境充実事業	地域の教育環境の充実のため、地域 おこし協力隊を1名配置し、地域と 学校の連携・協働による中学生への 学習支援の充実や、新学習指導要領 に定められた「生きる力」「非認知 能力」を育む教育を推進する。	(1)あつみ地域未来塾の拡大のため、 事業計画から受講生の募集、講師の 確保、事業運営等のニーズやカリ キュラムを検討。 (2)地域コーディネーターとしてのス キル研修等を支援する。	・12月15日温海生涯学習振興会理事会で 業務委託について承認を受ける。 ・12月28日HP等への掲載及び応募開始 ・1月31日応募締め切り（応募者2名） ・2月1日第1次選考 ・2月10日第2次選考（オンライン面接） ・2月20日最終選考結果報告、4月採用の 予定 ・業務委託先の調整がつかず、年度内の 配置に至らなかった。	・地域おこし協力隊を1名配置し、あつみ 地域未来塾の拡大やより効果的な事業展 開を図り、生きる力を育む、豊かな心を 育てる、非認知能力を伸ばす教育と学校 教育との連携を進める。 ・温海地域の学習プログラムの構築と地 域教育コーディネーターの育成を図る。

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和4年度事業概要	令和4年度取組・評価 （令和5年1月31日現在）	令和5年度事業計画（方針）
8	継続	産業建設課	7-(6)-ウ 農林水産資源のブランド化	基本方針 (4) 農林水産資源のブランド化	温海地域在来作物振興事業	古くから栽培されている在来作物「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」の継承や認知度向上により、生産者の所得向上と地域経済の活性化を図る。	「焼畑あつみかぶ」の更なるブランド力向上や「越沢三角そば」のプロモーション活動等に向けた取り組みを支援する。	(1)焼畑あつみかぶ ・チャレンジ支援事業：3団体（内新規2団体） ⇒収穫物についてはJAや産直出荷のほか、漬物以外の商品開発や教育旅行等の自然体験活動のフィールドとして活用。 ・スギ葉マッチング事業：申込者18名（前年利用者8名） ⇒スギ葉の集積・質に課題があったが、火入作業におけるスギ葉投入は効果的であり、引き続き利用したい旨の声多数。 (2)越沢三角そば ・作付面積は前年比+97.1aの1085.3a ・10月29日、30日に「越沢新そばまつり」を予約制で開催。 ・新たな商品としてそばそうめんの製造に取り組み、ふるさと納税返礼品に登録。 ・6月に首都圏においてミシュラン掲載そば店等関係者へのプロモーション活動を実施。 ・ルーツと言われる長野県信濃町との産地交流を実施。 ・品質確保・生産技術の向上に向けた取り組みとして栽培技術講習会、そば打ちスキルアップ講習会を開催。	(1)焼畑あつみかぶ振興による地域活性化を図るため「焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会」の活動を引き続き支援する。 (2)越沢三角そば振興による地域の活性化を図るため「まやのやかた越沢三角そば生産組合」の活動を引き続き支援する。
9	継続	産業建設課	4-(4)-イ 豊かな森林資源の地域内循環の促進 7-(6)-ウ 農林水産資源のブランド化	基本方針 (4) 農林水産資源のブランド化	中山間集落モデル農林業実践事業	皆伐跡地で、伝統農法である焼畑農法の継承と再生林の推進をセットにした仕組みにより、林業の振興を図り、活力ある中山間集落の維持につなげる。	・槇代長沢での焼畑あつみかぶの栽培を実施。 ・補助事業で蓄積した焼畑のノウハウを地元への周知。 ・首都圏・関西方面への販売促進に注力。 ・人材確保と後継者育成に取り組む。 ・自立に向け体制整備。	・槇代長沢で1.3haの焼畑あつみかぶ栽培を実施し、約8.7tを収穫。 ・良品のMサイズが多く収穫され、高値での首都圏方面出荷が増加。県外からも漬物用の新規取引先も出てきている。 ・販促用プレミアムかぶ漬け販売も順調で、新規パンフレットを作成。 ・R5からの自走に向け人材確保等の課題解決手法を引き続き検討する。	・令和4年度補助事業終了 ・温海町森林組合が自走し事業継続

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度の実施と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和4年度事業概要	令和4年度の実施・評価 （令和5年1月31日現在）	令和5年度事業計画（方針）
10	継続	産業建設課	7-（6）-ウ 農林水産資源のブランド化	基本方針 （4） 農林水産資源のブランド化	温海地域小ロット農産物生産振興事業	温海地域において小ロット農産物の質と量を確保するため、安定して生産・集荷・販売される仕組みを構築し、複数の産直組織が一つの組織として産直活動を行う組織づくりを目指す。	(1)小ロット農産物などを地域内で販売する「温海農林水産まつり」を軽トラ市として開催する活動を支援する。 (2)新たな産直組織の設立を支援し、設立後に円滑な活動ができるように組織活動を支援する。 (3)「畑らいふ支援事業」として活動している初心者グループへの野菜づくり指導活動を支援する。	・11月13日に道の駅「あつみ」しゃりんで開催された『温海農林水産まつり』の活動を支援。 ・既存の産直組織を統合し、地域の新たな産直活動組織として7月13日に「あつみ旬菜会」が設立された。 ・野菜づくりの裾野を広げる「畑らいふ支援事業」を支援。初心者グループとして9グループが参加し、高齢者等の生きがいづくりや生産者育成に寄与。	・新たに設立された「あつみ旬菜会」の活動及び組織運営を強力に支援する。 ・小ロット農産物の生産振興に向けて、地産地消拡大活動、後継者育成活動を支援する。
11	拡充	産業建設課	7-（6）-ウ 農林水産資源のブランド化	基本方針（4） 農林水産資源のブランド化	温海地域伝統的工芸品振興事業	羽越しな布振興協議会が国の認定を受けて実施する第4次振興計画（R4～R8）に基づき、羽越しな布の伝統的工芸品の振興に資する取組を支援する。	(1) 後継者の確保・育成事業 (2) 技術・技法の記録収集及び保存事業 (3) 原材料の確保事業 (4) 需要の開拓事業 (5) 意匠の開発事業 ※ 山形県伝統的工芸品産業支援事業補助金の廃止に伴い予算を一部拡充	・山形県地場産業等振興補助金 6月17日交付決定後、後継者育成事業と販路拡大のためにパンフレットの増刷や新パッケージの作成を支援。 ・6月…皮はぎ研修 3回実施。 ・7月～8月…素材づくり研修 2回実施。 ・11月～現在…糸づくり研修 昼の部3回・夜の部3回) 実施。 ・パンフレット増刷、新デザインのパッケージを作成し1月中に完成・納品済。	・R4年度は国の補助金が不採択となったが、産地とともに今後の方向性を確認したうえで、R5年度も国の補助金の採択に向かう。 ・外部人材による後継者育成に成功している他の伝統工芸品産地の視察を行う。 ・後継者育成事業などに加え、しな織のPR方法を見直し情報発信についても強化していく。

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度の取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和4年度事業概要	令和4年度の取組・評価 (令和5年1月31日現在)	令和5年度事業計画(方針)
12	継続	総務企画課	7-(6)-エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	基本方針 (6) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	養蚕環境整備事業	鶴岡シルクタウンプロジェクトにおける一貫工程の土台を守り、中山間地域の振興と高齢者の生きがいに繋げる。	福栄養蚕振興会が行う活動を支援する。 (1)蚕の飼育管理 春蚕 25,000頭、秋蚕 25,000頭 (2)繭の出荷ほか、松が岡開墾記念館などへ稚蚕の配布も行う。 (3)令和3年度に問合わせのあった蚕蛹の漢方薬原料への試験的な出荷など繭生産以外の収入を確保する。	・福栄養蚕振興会が行う活動を支援した。 (1)春蚕で25,000頭、秋蚕で25,000頭の蚕の飼育管理を行った。 (2)春蚕、秋蚕ともに松ヶ岡開墾記念館に6,000~7,000頭の幼虫を配布した。 (3)秋蚕で飼育した蚕については繭としての出荷は行わず、ベンチャー企業に幼虫として30kg出荷した。また、上記とは別枠で、531,250頭の稚蚕(生後1週間の幼虫)を県内の各農家・企業へ販売した。 ・蚕の飼育及び桑園の維持管理などの共同作業により、地域コミュニティの醸成、高齢者の生きがいに繋がり、耕作放棄地の解消などを図ることができた。また、本事業により、絹産業の一貫工程の土台である養蚕業を維持し、鶴岡シルクタウンプロジェクトの推進に寄与した。	・引き続き福栄養蚕振興会の活動を支援し、絹産業の一貫工程の土台の部分を支えるとともに、地域コミュニティの醸成、高齢者の生きがいに繋ぎを推進する。
13	継続	総務企画課	7-(6)-エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	基本方針 (6) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	高等学校等生徒通学費支援事業	地理的要因により通学費負担が大きい高校生世帯を支援することにより、条件不利地であっても、地域を離れず将来にわたり暮らし続けられる生活環境の確保を図る。	(1)高校生世帯に対し、通学費の一部を支援する。 (2)保護者等がスマホ等で簡単に申請できるようにデジタル活用を検討する。	(1)高校生世帯への通学費支援 ・申請件数60件(実人数35名)※1月末時点 ・3月に中学3年生の保護者向けに制度の周知と、高校生世帯へ「庁舎からのお知らせ」により年度内に申請することを促す。 (2)申請手続きのデジタル化 ・行政手続きの利便性向上を図るため、スマートフォン等から申請・交付ができる仕組みについて、庁内関係課と検討を行った。令和5年度導入する方向で準備を進めている。	・高校生等世帯の負担軽減を図るため、通学費の一部支援を継続する。 ・オンラインによる申請・交付を可能とし、行政手続きの利便性向上を図る。



温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度の取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和4年度事業概要	令和4年度の取組・評価 （令和5年1月31日現在）	令和5年度事業計画（方針）
14	拡充	市民福祉課・総務企画課	7-（6）-工 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	基本方針 （6） 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業	地域の自然を活用し、特色ある教育環境、子育て環境確保により、子育て世代も安心して暮らし続けられる基盤づくりを進め、交流・関係人口の構築を図る。	主たる講師とアドバイザー契約を結び、「生きる力を育む教育」の実践について、保育士、教職員を支援する。 (1)保育士の研修や地域の特色を体験できる保育園づくりを支援する。 (2)非認知能力を高める教育を小中学校でも実践するため、各校全教職員を対象に研修を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日に講師とアドバイザー業務委託契約を締結</li> <li>・庁舎全体で本事業に取り組むため、プロジェクトチームを結成</li> <li>・鶴岡市ホームページに取組を掲載</li> <li>(1) 保育園 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師による各園訪問指導、保護者説明会（出席者58名、出席率74%）、年長児交流事業「福栄の日」年4回（第2回は雨天中止）</li> <li>・6月9日「非認知能力」を育てる教育に取り組んでいる県内保育園への先進地視察研修</li> <li>・世界子どもの日にちなんだPOP-UPフェスティバルに参加</li> <li>・3月年長児保護者にアンケート調査予定</li> </ul> </li> <li>(2) 小・中学校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員対象ワークショップ実施(各校1回)</li> <li>5/23温海中、9/30あつみ小、12/22鼠ヶ関小</li> <li>・2月28日森林環境教育（あつみ小4年・サケの放流）にSEL教育アドバイザー視察予定</li> </ul> </li> </ul> <p>保育園でのSELの取組は3年目となり、保育士が理解を深め、自信をもって実践に取り組んでいる。</p> <p>学校教育への連結のため、各校で校長も含む全教職員を対象に研修を実施し、年次計画を立て取り組むことが決まった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生きる力を育む教育」「非認知能力を高める教育」を地域全体の教育方針に位置付け、保育園から小中学校までを一貫とした教育の柱とするため、関係機関が連携して取り組み、学校教育への導入については、基本計画に基づき着実に取組を進める。</li> <li>・保護者への研修を実施するとともに地域住民の理解と支援を得ながら、移住者も視野に入れ幅広く情報発信し事業周知していく。</li> </ul>

温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要 (全体)	令和4年度事業概要	令和4年度取組・評価 (令和5年1月31日現在)	令和5年度事業計画 (方針)
15	継続	産業建設課	7-(6)-ア あつみ温泉 と道の駅を 拠点とした 地域振興	基本方針 (1) あつみ温泉の 魅力の向上と 賑わいの創出	温海公園 (ば ら園) 整備事 業	開園から50年以上経過し老朽化が 進んだ温海公園 (あつみ温泉ばら 園) を改修し、あつみ温泉の観光の 拠点、市民の憩いの場としてリ ニューアルを図る。	・実施設計業務委託を発注し、地元 の関係団体 (あつみ温泉魅力づくり 推進委員会、熊野神社、(株)YUKA I等) と連携しながら、改修計画を 策定する。  ※令和4年度から市全体の公園整備 として予算化	・令和4年6月8日付けでアジア航測(株) と実施設計業務委託契約を締結すると共 に地元関係団体と協議し整備計画案をま とめた。 ・令和5年3月1日にあつみ温泉魅力づく り推進委員会へ整備計画案を説明する。 ※令和4年度から、公園整備に位置付け 「温海公園整備事業」として実施。	・温海公園整備工事実施 (令和5~6年 度) ・温海公園指定管理者制度移行準備
16	継続	総務企画課	7-(6)-エ 海・山・自然豊かに暮 らし続けら れる環境整 備	基本方針 (6) 海・山・自然 豊かに暮らし 続けられる環 境整備	温海地域公共 交通網形成事 業	路線バスに代わる新たな移動手段と して、道路運送法第21条の規定に 基づく乗合タクシーの試験運行を実 施する。また、その検証等を踏ま え、地域の特性に応じた、持続可能 な公共交通網の形成を目指す。	・乗合タクシーの試験運行につい て、利用者満足度調査や温海地域公 共交通運営協議会での意見をもとに 運行経路、運行時間等の調整、見直 し・検討を行う。 ・路線外特別運行について、利用実 績がないことから対象集落の意見を 集約し、利用しやすいものとなるよ う検討を行う。 ・予約システム等のICT活用の次 年度以降の導入について、地域振興 課や他の運行管理団体等と意見交 換・検討を行う。	・コロナによる利用者数の減が懸念され たが、R4年度目標が12月末現在11,502人 に対し11,605人 (前年比2.8%増) と目標 を達成することができ、概ね良好な利用 者数の推移となっている。 ・一方、菅野代線については利用者が月 平均10.3人と利用が少なく、今後の在り 方を検討する必要がある。 ・R5.10月の本格運行に向け、利用実態に 合わせ停留箇所、時刻、路線等の改正を 引き続き行う必要がある。	・乗合タクシーの試験運行について、利 用者満足度調査や温海地域公共交通運営 協議会での意見をもとに運行経路、運行 時間等の調整、見直し・検討を行う。 ・3年の試験運行期間が終了することから R5年10月~の本格運行を目指し、試験運 行の評価検証を行う。
17	継続	総務企画課	3-(2)-ア 市民の多様 な学習活動 の推進	—	あつみ地域未 来塾	地理的要因により市内の学習塾等へ 通うことが困難な生徒 (温海中学校 3年生) に対し、あつみ未来塾を開 講し、学習機会の提供と学習支援を 行う。	・温海中学校3年生希望者を対象に、 9月から2月まで土曜日の午前中に温 海ふれあいセンターにおいて、あつ み地域未来塾を20回開塾する。	・受講生33名 (温海中3年生41人) ・講師11名 (継続8名、新規3名) ・社会の講師が確保できず4教科7クラス で開塾 ・9月~2月まで計20回実施予定 (1月31 日現在、18回実施済 延387名出席) ・2月に受講生へのアンケート調査を実施 予定。 ・夏休み期間や土曜日以外の開講につい ては、講師の確保が難しく課題となっ た。 ・今年度の目標受講率を前年度比10%増 としたが7%増であった。※受講率は80%	・あつみ地域未来塾の充実のため地域お こし協力隊を1名募集し配置予定。 ・夏休み期間中や土曜日以外の開講、対 象者等の拡大やあつみ地域未来塾の充実 について検討する。



温海地域まちづくり未来事業等 令和4年度の取組と令和5年度事業計画

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和4年度事業概要	令和4年度の取組・評価 （令和5年1月31日現在）	令和5年度事業計画（方針）
18	継続	総務企画課	3-(2)-イ 社会教育活動推進のための施設機能の充実 7-(6)-エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	—	温海ふれあいセンター機能強化事業	文化の向上と福祉及び健康増進並びに生涯学習の推進を図るため、地域の生涯学習の拠点となっている温海ふれあいセンターの長寿命化及び利用拡大の検討を進め、市民の文化活動等の利用、生涯学習機会の場としての機能充実を図る。	・指定管理者である温海生涯学習振興会と連携して適正な施設管理に努めながら、施設利用者等からの要望等を取り入れ魅力ある各種事業・講座を実施し、施設利用者の増加を図る。施設の長寿命化のための修繕計画の検討を進める。	・指定管理者と情報共有しながら、緊急度の高いものを優先して修繕し、施設の適正管理に努めた。 【今年度終了済】 事務室空調設備交換修繕、自動ドア修繕 【今年度中に完了するもの】 第1研修室エアコン修繕、多目的ホール非常照明用バッテリーとホールランプ交換 ・利用者から重いとの苦情がある会議室の机について、折りたたみテーブル5台を購入し、利用しやすい環境を整えた。	・引続き指定管理者である温海生涯学習振興会と連携して適正な施設管理に努めるとともに、利用者等の要望等を取り入れ魅力ある事業・講座を実施し施設利用者の増加を図る。 ・施設、設備ともに老朽化しているため、長寿命化を検討しながら、支障のある箇所を順次修繕し利用者の安全安心な利用を確保する。

令和5年度温海地域まちづくり未来事業について<新規事業>

NO	区分	担当課	総合計画 の位置づけ	地域振興計画 の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和5年度事業計画(方針)
1	新規	産業建設課	7-(6)-ア あつみ温泉 と道の駅を 拠点とした 地域振興	基本方針(2) 日沿道延伸を 活かした鼠ヶ 関周辺地域の 活性化	温海地域水産物販売実証実験事業	温海地域で水揚げされる水産物に対する観光客や市民の需要、販売に向けた課題などを把握するため、鮮魚等販売等の実証実験を行う。	全国でも有数の水揚げを誇る紅えびの地元消費拡大や、庄内浜水揚げの鮮魚の特性である少量多品目の鮮魚販売、刺身等の一次加工サービス等に取り組むほか、売れ残り品の活用方法の検討、底曳網漁休漁期や冬期間の時化等への対策として年間を通じた販売を実現化するため、既存の急速冷凍機を活用した販売等、これまで販売実績が乏しかった鮮魚販売に積極的に取り組む。
2	新規	産業建設課	7-(6)-イ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	基本方針(3) 自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大	日本国登山イベント実施事業	標高555mの日本国に因んだ登山交流イベントを令和5年5月5日に村上市と連携開催し、日本国登山の知名度向上を図る取組を支援するとともに、新たな道の駅を拠点とした周遊観光の礎を構築する。	日本国の標高に因んで令和5年5月5日に開催する「日本国登山イベント」を支援する。その際、小俣登山口が存する村上市山北地区との連携を図る。
3	新規	総務企画課	7-(6)-イ 自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大	基本方針(3) 自然・歴史・文化を活かした交流人口、関係人口の拡大	保育園留学による関係人口創出事業	首都圏在住で、子どもの教育に熱心な親世代に、自然豊かな地での保育、体験の場を提供。親子と温海との関わりしるを作り、移住・二地域居住を目指す。 保育園留学のノウハウを持ち、このニーズを持つ600人の顧客を抱える株式会社キッチンハイクとあつみ福祉会と連携して行う。	保育園留学を全国展開している(株)キッチンハイクと提携し、地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラム「保育園留学」を実施することにより、都市圏在住の親子家族の関係人口創出につなげる。  目標：7月～12月の期間に、10家族を受け入れる。
4	新規	総務企画課	7-(6)-エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	基本方針(5) 時代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化	温海地域集落ビジョン策定支援事業	住民が主体となり、自らの集落の魅力や課題を整理し、前向きに将来の目指す姿や実現に向けた取組を行うため、集落ビジョン策定を推進する。	ビジョン策定への気運を高めるため、各自治会長を中心に役員や集落住民を対象に研修会を行う。  地域全体での研修会の後、策定へ前向きな自治会でワークショップ(WS)を3回程度開催し、最後に全体研修会としてふり返りと発表会を行う。